

誤差の事例

①過酷度を増加していき直交表の各行の特性値あるいはSN比が劣化するまで評価する



	誤差1	誤差2	誤差3	誤差4	誤差5
温度を過酷に振る	100°C煮沸	氷水に浸漬	100°C煮沸	氷水に浸漬	100°C煮沸
屈曲回数	100回	200回	300回	400回	500回
落下	1回	2回	3回	4回	5回
	0.5m	0.75m	1m	1.5m	2m
耐摩耗性	1回	2回	3回	4回	5回
湿度	dry	wet	dry	wet	dry
紫外線	1年相当	1.5年相当	2年相当	2.5年相当	3年相当
...

②合格の行が3～5割ほどになった時点の特性値あるいはSN比を用いて要因効果図を描く

制御因子の水準幅を拡げて3～5割が合格にする方法もあります